

「就労支援部会」中間報告について

1 開催日時等

第23回就労支援部会

平成30年5月29日（火） 刈谷市障害者支援センター 多目的室

第24回就労支援部会

平成30年9月12日（水） 刈谷市障害者支援センター 多目的室

第25回就労支援部会「障害者雇用セミナー」

平成30年9月21日（金） 刈谷市産業振興センター 401会議室

第26回就労支援部会

平成30年9月28日（金） 刈谷市障害者支援センター 多目的室

2 部会員名簿

団体等名	氏名
特定非営利活動法人 パンドラの会	坂口 伊久磨（部会長）
特定非営利活動法人 くるくる	鈴木 佳奈
刈谷市障害者支援センター	梅津 大樹
西三河南部西障害者就業・生活支援センター	加藤 正昭
刈谷商工会議所	河内 利夫
刈谷公共職業安定所	中野 みどり (H30.9.30まで) 櫻井 茂文 (H30.10.1から)
刈谷市立刈谷特別支援学校	前田 直美
愛知県立安城特別支援学校	都築 正徳
商工業振興課	川口 泰治

3 報告事項

(1) 第23回就労支援部会

ア 刈谷市障害者自立支援協議会における就労支援部会の報告について

平成30年5月7日に開催された第32回刈谷市障害者自立支援協議会にて、就労支援部会関連として昨年度の検討事項と結果及び今年度の検討事項を報告した。

イ 障害者雇用セミナーの開催について

昨年度のセミナーが好評であったことを踏まえ、今年度から法定雇用率

の算定に加わる精神（発達）障害者の雇用を昨年度と同様にテーマとし、企業による障害者雇用における事例紹介とパネルディスカッションや就労支援機関の種類と役割に関する説明を行うことで、障害者雇用の促進を図ることとし、開催日時、講演内容、広報手段など具体的なセミナーの内容を検討した。

（ア）精神障害・発達障害を始めとした障害者の雇用を行っている企業より、実際に行っている取り組みや工夫について事例を交えた講義を行うことで、障害者雇用に対する理解促進を図る。

（イ）障害者の就労に関して支援を行う機関の種類や役割の紹介を行い、就労支援機関に対しての理解を図る。

（ウ）グループ毎にテーマを設け、テーマに沿って現在悩んでいる内容をグループで話し合ってもらおう。1グループ8人程度とし、グループリーダーとなる部会員の皆さんから参加者に対して、解決策の助言や悩みに合った支援機関の紹介をしていただく。グループは参加者の悩み、職種、規模等を考慮しながら分ける。

ウ 企業向け事業所バスツアーの開催について

企業に就労支援事業所における一般就労に向けての訓練を知ってもらい、障害者が就労しやすい職場環境づくりの参考にしてもらうことや就労支援機関と企業のつながりを深めることを目的に、昨年度に引き続き事業所ツアーを開催する。

開催日時、訪問先事業所、広報手段など具体的な内容を検討した。

（ア）市内3か所の就労移行事業所を訪問し、バス内及び事業所で各事業所の職員である支援員が訓練内容について説明するとともに、それぞれの事業所の特徴、障害者への関わり方や、企業と支援機関の連携の取り方について理解促進を図る。

（イ）支援機関に足を運びたいが、きっかけがないと行きづらいし、どの支援機関に行ってもよいかわからないという企業の声を知ることがあるので、今回のツアーをよいきっかけとする。

（ウ）企業と支援機関のつながりを作る機会とする。

エ 障害者差別解消法に関する課題の有無について

特になし

(2) 障害者雇用セミナー

ア セミナー内容

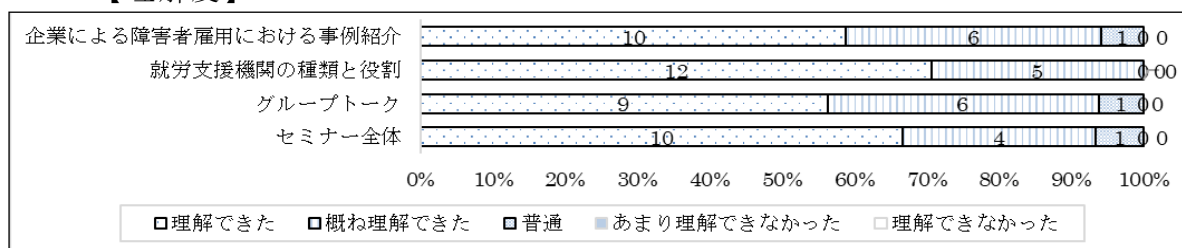
内容	講演者
企業による精神・発達障害者雇用における事例紹介及びパネルディスカッション	(株)魚国総本社名古屋本部 川崎 昌弘 氏 スギスマイル(株) 東 達也 氏 井上技研(株) 竹内 龍作 氏 松原 敏雄 氏 S & J パンドラ 坂口 伊久磨 氏 (司会)
就労支援機関の種類と役割	西三河南部西 障害者就業・生活支援センターくるくるセンター長 加藤 正昭 氏
グループトーク	○グループ別テーマ A：精神・発達障害への理解 B：社員が精神的な病気になったときの配慮・待遇 C：求人・募集 D：業務の切り出し方

イ 参加企業者及び参加者数

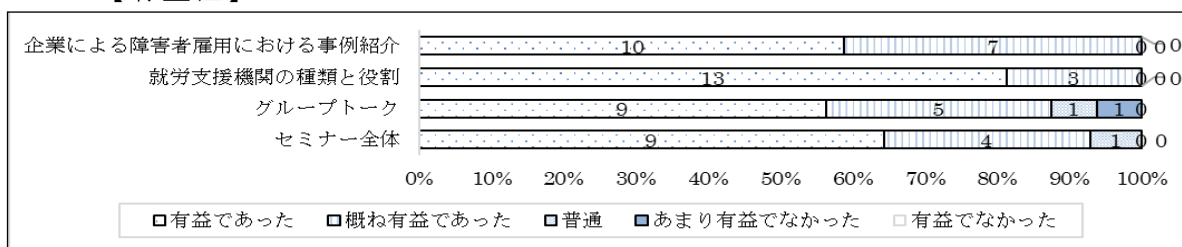
年度	参加企業数 (社)	参加者数 (人)	内容
平成30年度	15	19	企業による精神・発達障害者雇用に関する事例紹介
平成29年度	13	24	医師による精神(発達)障害者の社会復帰についての講演 事業所による就労移行支援事業所の取り組み紹介
平成28年度	21	29	事業所による精神(発達)障害者に対する理解促進に関する説明 企業による事例発表(パネルディスカッション)
平成27年度	13	16	ハローワークによる障害者雇用に関する制度紹介 企業による事例発表

ウ アンケート結果

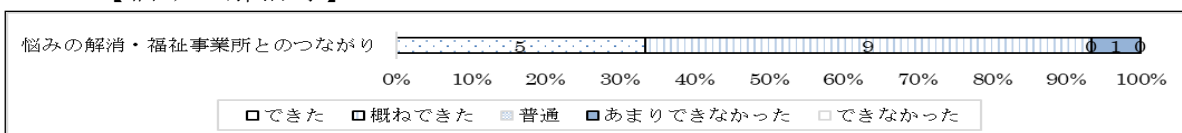
【理解度】



【有益性】



【悩みの解消等】



【自由記述】

- ・他社の事例を聴き、自社の取り組みを客観的に見つめ直すことができた。
- ・他社の採用状況や悩みを共有することができ、非常に参考になった。
- ・営業の人だと思っていたことから、今まで就労支援機関を避けていたが、役割や有益性について理解することができた。

2 総括及び検討課題

(1) 障害者雇用セミナーの開催について

今年度は、障害者の雇用を積極的に行っている3企業の担当者の方に精神・発達障害者の雇用における事例紹介をしていただくとともに、採用後の苦労話等についてパネルディスカッションを実施した。雇用に関して工夫している事や、うまくいっている点等を、直接、採用担当者様から聴くことができたことから、満足度及び有益性の高いものであった。

また、障害者の就労に関して支援を行う機関の種類や役割の紹介を行うことで、支援機関から企業への就労に向けた一連の流れ等について、理解を深めることができた。

グループトークでは、グループ毎にテーマを設定して、企業と支援機関が話し合うことにより、求人・募集、障害への理解に対する悩み等について共有し合うことができたことから、企業毎に今回の内容を踏まえて、今後の支援につなげていきたい。

(2) 企業向け事業所バスツアーの開催について

参加企業が就労に向けた訓練についての理解を深められるようなバスツアーとなるように開催に向けた準備を行い、開催後はセミナー同様に必要に応じて支援機関が参加企業へ連絡を取り、連携体制を作ることを目指す。